

環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性国家戦略見直し担当 御中

提出者：グリーンピース・ジャパン
森林問題担当：尾崎由嘉
平成 14 年 1 月 30 日

「生物多様性国家戦略」の見直しへの意見

森林生態系の重要性は、「新・生物多様性国家戦略素案」の第 4 部、「森林・林業」で認識されておりますが、国内のみならず、国外の森林においてもその重大性に違いはありません。現在、地球上の陸上生物のほとんどが生息するといわれる原生林の破壊が、世界的に問題になっています。その破壊の主な原因は、違法および破壊的な商業伐採によるものであり、早急にもこの多様な種を維持する原生林生態系を保護する対策が求められています。この問題は、「新・生物多様性国家戦略素案」の第 4 部、「国際的プログラムの推進」で取り上げられていますが、世界有数の木材輸入・消費国である日本は、間接的に、世界の原生林生態系を破壊しているという視点が盛り込まれるべきです。素案の中では、既存のプログラムの実施に取り組んでいるとされていますが、「生物多様性国家戦略」としての更なる具体的な対策が必要です。

グリーンピースは、広大な生態系である世界の原生林の保護、および条約の目標達成のために、各省庁が連携を保った上で、「生物多様性国家戦略案」へ下記の対策を盛り込み、国際的レベルでこの対策に率先して取り組んでいくよう提案します。

- 1)原生林破壊を止める - 森林保護と持続可能な利用のために責任ある計画が合意されるまで、世界の原生林地域での今後更なる産業活動を中止させるよう、国際レベルで率先して取り組むこと。
- 2)木材貿易がクリーンであるものに確立させる - 持続可能な森林経営を阻害している要因を取り除くためにも、木材が合法に、かつ、環境保全に責任ある形で生産され、取引されることを確立すべきである。「森林保護に配慮し、持続可能な方法で産出されたことが確実である製品（FSC - 森林管理協議会）の認証を受けたもの以外は、輸入すべきではない」という方針を強く打ち出すべきであり、同時に国内人工林のよりよい活用を積極的にはかるべきである。特に、FSC(森林管理協議会)の認証を受けた製品を導入するなど、まず、省庁の調達ポリシーへ盛り込むべきである。
- 3)世界原生林保護基金を設立する - 世界的に森林保護、持続可能な森林経営の発展、および上記の対策実現のために、年間 150 億米ドルに値する世界原生林基金を創出すべきである。

以上